

## 悲しくもないのに涙が出る？

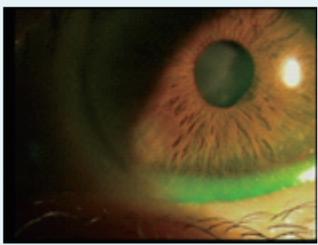
### 流涙症ってなに？

辛いとき、悲しいとき、感動したとき。そんなとき、涙は自然に出てきます。でも、理由もなく涙が流れ出すことがあります。一般的には「涙目」、医学的には「流涙症(りゅうるいしょう)」と言います。流涙症が軽い場合、部屋の中で涙は出ませんが、寒くなって冷たい風が当たったりすると流れ出ます。重症になると、風がなくてもいつも涙が流れ出し、風が当たったりするとより一層ひどくなります。しょっちゅうハンカチなどで拭かなければならず、かなりうっとおしいものです。

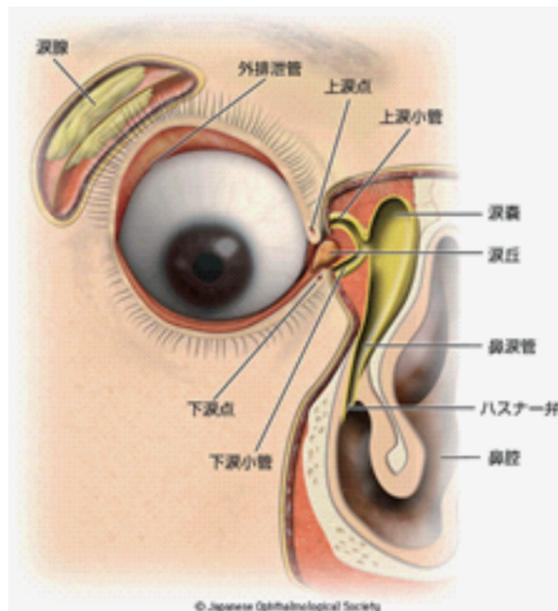
①うるんで視界がぼやける、②目の周りがただれやすい、③目やにが溜まりやすいなどの症状がでます。



正常の涙液量



流涙症患者の涙液量



### 涙はどこで作られ、その行き先は？

涙は、上まぶたの外側の奥にある「涙腺」というところで作られ、上下のまぶたの鼻側(目頭)にある「涙点」から吸引され、涙小管→涙嚢→鼻涙管を通して鼻の奥に流れていきます。この涙の通り道が、細くなったり詰まったりすることで、流れなくなった涙が目に残り、うるうるとした涙目になります。まぶたは、涙の排出のためポンプの働きをする重要な役割を担っていますが、この機能は加齢とともに低下します。加齢によりまぶたを開閉する力が弱くなることも影響します。

### 鼻涙管の閉塞や狭窄

流涙症の原因で特に多く、先天的と後天的に分類されます。

#### A. 先天的鼻涙管閉塞

赤ちゃんによくみられ、鼻涙管と鼻腔の間に粘膜が残ったままになって開通していない状態です。このため、いつも目がうるんで、涙の通り道の中で細菌感染を生じると目やにが多く出るようになります。

【治療】成長とともに自然に治ることがあります。まず涙嚢マッサージを行います。

自然に治らず涙嚢マッサージの効果もない場合には、処置や手術を行います。

- ①ブジーの挿入：涙道の閉塞部分を開通させるため、ブジーという金属製の細い棒を涙点から挿入する方法です。
- ②ヌンチャク型シリコンチューブ(NST)：武術で使うヌンチャクのようなかたちのシリコン製チューブを涙点から挿入し、閉塞・狭窄部分を拡張する手術です。

#### B. 後天的鼻涙管閉塞

多くは原因不明ですが、感染や炎症などが原因となることがあります。

【治療】

- ①ヌンチャク型シリコンチューブ(NST)
- ②涙嚢鼻腔吻合術：涙嚢-膜性鼻涙管と鼻腔(鼻の奥)を直接つなぐバイパス手術です。



## 院長ごあいさつ

昭和38年6月、父・一平が、須磨区にある板宿で梶川眼科医院を開業した。私はまだ幼稚園児で、中学生時代まで下町風情が溢れる板宿で過ごし、ずっと父の背中を見て育って来た。毎日、大勢の患者さんが来院され、さらに入院での手術もおこなっていたので、その激務ぶりに「医者って大変な仕事やなあ」と幼心に感じていた。私が高校1年生の頃、神戸市再開発のため思い出がいっぱい詰まった自宅兼診療所は、取り壊されることとなり、プレハブの仮設診療所を経て現在に至る。

平成3年1月、突然父が倒れた。父は直ぐさま入院となり、その頃、私は兵庫医科大学眼科の勤務医であったが、急ぎよ当院も手伝うことになった。私にとっては、全ての患者さんが新患である。自分の診察が出来る許容量を遥かに超えていた。当然の如く待ち時間は長くなり、「若先生の診察は遅いわね」という小声が聞こえて来る。ある日、「いつまで待たせるんや!!」の怒号に外来が凍りつく。一生懸命やっているのに。。。悔しかった。情けなかった。父の手術は無事に済んだものの、難病のため仕事への完全復帰は遠のく。平成5年、春先頃から父の容態が悪化し、入院の繰り返し。5月1日、父は静かに息を引き取った。父と強い信頼関係のある患者さんが、果たして自分を信頼してくれるのか不安であった。しかし、その不安を他所に多くの患者さんが眼科医としてまだまだ未熟である私を信頼し、引き続き来院して下さいました。感謝、感謝、感謝である。



院長 梶川大介

50歳を過ぎてから本当に良い出逢いが山のようにあった。「何のために仕事をするのか?!」の問いかけは、自分の人生に大きな意味をもたらした。仕事のやり方よりも仕事の在り方・心の在り方の大切さを学んだり気付かされた。「院長が輝けば、スタッフも医院も輝く」この言葉を胸に“チーム梶川”の監督として患者様のため、スタッフのために今後も少しでもお役に立てればと思う。

今年、梶川眼科医院は、板宿で産声をあげて50年、私が父から院長を継承して20年になる。この間、色々な出来事があった。親子二代の長きにわたり“眼科かかりつけ医”として微力ながら地域医療に貢献して来れたのも、ひとえに苦楽を共に仕事をしてきたスタッフをはじめ、スタッフの家族、患者様、諸先生方、取引先など皆さまのおかげである。当院はどれだけ多くの方々のご縁に恵まれ、どれだけ支えて頂いたか解らない。本当に感謝の気持ちでいっぱいである。今年は、今まで以上に感謝の気持ちを伝えていきたい。

## コラム数珠つなぎ



### 今回は、受付・西山がお届けします！

2年前からパン教室に通っています。ゆったりとした時間の中で、レシピを見ながら楽しんで(^u^)作る焼きたてのパンは毎回食感が違ってリッチでちょこっと欲張りな時間になっています。そしてもう一つ私が授業(レッスン)で、密かに楽しみにしていることはパンの名前の由来です。例えばよくパン屋さんで見かけるエビとは、フランス語で麦の穂という意味で見た目も写真のような感じで納得できます。そして、フロマージュとはこれもフランス語でチーズという意味だそうです。これからも、まだ出会ったことのない未体験のパンに魅力を感じながらレッスンを長く続けることができたら最高です!! そして、美味しいパンが自宅で焼けるようになったら女子力アップすること間違いなしです(\*。\*)

顔晴力 No.1



井口さんは、後輩への的確な指導やきめ細やかな気配り、柔軟な姿勢で大所帯の診療部門のみんなを引っ張っています。地味な縁の下の仕事もコツコツとして下さいます。どんな時も井口スマイルを絶やさず頑張る姿は素敵です。

祭源力 No.1



折口さんの大きな声、明るい表情、笑い声、Y本興業顔負けの話術のおかげで、スタッフも患者さんも一杯の元気を貰います。17年間変わらず職場のムードメーカーとして引っ張ってくれています。周囲のみんなを楽しく、明るく、元気にする源です。

癒し力 No.1



米田さんは、いつもここに笑顔、優しい眼差しで患者さんやスタッフの癒しの存在です。時折見せるお茶目な仕草や一言でその場の雰囲気をはほのぼのとしたものに変えるパワーは絶妙。眼処置後の笑顔は、癒し効果抜群です。

率先力 No.1



奈良さんは、誰もが敬遠したがるような仕事、緊張を強いられるような仕事などを自分から進んで引き受けて下さいます。その背中を後輩たちはしっかりと見ています。その心意気は、素晴らしいです。

前進力 No.1



高谷さんは、看護師として自分の在り方を探求し、スキルアップも図っています。行動にも、発言にも頼もしさを感じます。いつも前を見据えて一生懸命に仕事をしている姿は、とっても素敵です。

素直力 No.1



横山さんは、自分の思ったことや感じたことを素直に言って下さいます。苦手な自分の課題を克服しようとして一生懸命に頑張っています。前向きな気持ちで仕事に取り組み、行動にもより一層良い兆しが表れて来ました。

安心力 No.1



米谷さんは、いつも患者さん目線で院内の医療安全管理に目配り、気配りをして下さいます。「こんな細かなとこまで見たの?！」と驚かされることも多々あります。子の高い意識でみんなを引っ張ってください。

親近力 No.1



水島さんは、誰に対してもいつも優しいオーラを醸し出しています。だから、初めてあった方でも話しやすく、すぐに打ち解けることが出来ます。昔から通院されておられる患者さんにとっては、本当に心強い存在です。

自主力 No.1



大山さんは、いつも自ら進んでテキパキと仕事をしています。2年目とは思えない目配りと気配りの効いた仕事ぶりはあっぱれです。困っている後輩を見かければサッと手を差し伸べて下さり、名前の通り頼りになる存在です。

柔和力 No.1



木崎さんは、いつも笑顔で、優しい口調、物腰柔らかな対応でみんなに接しています。周囲を和やかな雰囲気に変えて下さいます。そのおかげでみんながとても働きやすく、和気あいあいと仕事が出来ます。

喜働力 No.1



河野さんは、いつも笑顔で、明るく、イキイキ働いています。院長からの相当厳しい指導(?)にも関わらず17年間も変わらず同じ姿勢を貫き通しています。こんなに働くことに素直に喜びを感じるあなたは凄いです。

成長力 No.1



藤本さんは、朝礼で子供さんや学校にまつわる出来事を楽しそうに話しています。イキイキ働いているお母さんの姿を子どもさんも感じているはず。子どもさんの成長と共に藤本さんも成長して来ました。

丁寧力 No.1



川野さんは、いつも優しく、丁寧で正確な仕事をしています。電話対応は丁寧、入力チェックも丁寧、声掛けも丁寧。相手の気持ちを大切に思って丁寧な仕事をして下さるので、みんながたいへん助かります。

共感力 No.1



澤下さんは、人前で話すのが苦手と言うけど、そのコメントには温かい人柄が感じられ、凄く説得力があります。みんないつもつんつんと頷いたり、なるほどと相槌を打ったり、す〜っとその話の内容に引き込まれていきます。

祭働力 No.1



西山さんは、いつもニコニコ笑顔で楽しそうに働いています。この紙面作りのため長時間パソコンに向かっていても仕事が楽しいと言って下さいます。こんなにも働くことに夢中になれるのはさすがです。

他幸力 No.1



山元さんは、「ここは本当に働きやすい職場」「ここでの仕事が楽しい」とよく言って下さいます。いつも明るく、ニコニコ笑顔、ハキハキとした解りやすい口調、楽しく働いている姿でみんなが幸せな気持ちになります。

創造力 No.1



平松さんは、待合室の掲示板を可愛いイラストで癒しの空間に変えて下さいます。無機質で何の変哲もない待合室は、今ではアットホームなとっても温かい雰囲気です。平松ワールドは、平松さんの人柄そのもので欠かせません。

未来力 No.1



山本さんは、新人の診療助手にも関わらず、いつもニコニコ笑顔で輝いています。当院での仕事に対する不安もあるかも知れないけど、どこまで伸びるのか今から将来がもの凄く楽しみです。

新心のスタッフのご紹介♪

診療助手・山本

動物に例える? : シェパード(牧羊犬)。飼い主の力になることが嬉しいようなイメージがあるので。最近1か月で嬉しかったことは? : 長男の初めての少年野球の公式戦でベスト3に入ったこと!! 梶川眼科の印象は? : チームワークが素晴らしいなあと思いました。好きな言葉は? : 一期一会 仕事をする上で意識していることは? : 気持ちの良い挨拶や笑顔で、患者様の「不登」が「安心」へ一歩でも近づいて頂けることです。最後に患者様へ一言 : 少しでも患者様の力になれば嬉しいと思っています。

メンバーを「○○力」で表すと?

昨年末、忘年会の場でスタッフを表彰しました。頑張ってくれているメンバーの顔、働いている姿などを思い浮かべながら、そのスタッフの長所を3文字の言葉で表しました。表彰状と併せてNo1ピンバッチ2個を贈呈しました。うちのメンバーには、これだけのNo.1が揃っています。凄いです!素敵です!!素晴らしいです!!! 完璧な人間なんていません。欠点や弱みはみんなカバーし、その人のウリや長所を認め合える素敵な“チーム梶川”にしていきたいです。

